

八碁連だより

令和7年2月号
第400号



極楽寺（大横町）

発行日 令和7年2月1日(土)
発行所 八王子囲碁連盟
住 所 八王子市長房町 506-13
電 話 042-667-1500
発行者 澤田 信夫
編集者 荒畑 昭一



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟



八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

巻頭言

碁石を並べるだけでござる



長房囲碁同好会

池口 隆久

昭和時代の棋士の棋譜を並べているが、覚えようとしていると、途中で嫌になり、すぐやめてしまいます。近頃は、もう諦めてしまい覚えようとはしない。ただ並べて居るだけでいい。ひたすら、木谷・坂田・秀行・治勲などの棋譜を並べている。そのうち指が覚えてくれないかな。

NHKのテレビ番組で「認知機能の維持と改善に資する4つの分野」について学んだ。「運動」「脳を鍛えるゲーム」「食生活の改善」とそれに「生活管理」。

運動は、ジムやプールに行っしてする運動を連想する方がおられようが、お金が掛かる。お金が掛からないウォーキングだ。一日60分位で良い。

脳を鍛えるゲームは囲碁が理想的。

食生活の改善は、魚・肉・卵・牛乳・大豆製品・野菜・海藻・イモ類・果物・油脂のうちから7品目以上を毎日とるとよい。

最後の生活管理は毎日の日誌に血圧・歩数などを記録しておくのが良い。私は、日誌に数字を記入するのが好きだから毎日の気温・体重・歩いた時間なども書き加えておく。体重を毎日記録していると、1キロ増えても気になる。体重計に乗るだけでダイエットになっているのかも。記録していると、食べる量もいつの間にか自己管理出来ているようだ。

囲碁の高段者の中にも、認知症になって亡くなられた方もいると聞く。囲碁は脳のトレーニングに良いのは勿論だが、囲碁をやっているだけでは駄目で、身体も動かさなくては駄目である。畑仕事・散歩などの運動を、日常的に継続して出来ている人は、健康維持・認知症の予防を実践出来ている。出来れば、健康のまままで長生きして、囲碁を打っていたいものです。

理事会議事録(抄)



令和6年度 第9回理事会 議事録

日時：令和6年12月21日（土曜日） 9時から12時

場所：東浅川保健福祉センター 第2会議室

出席者：澤田会長・浅川副会長（議事録作成）・木村・荒畑・棚原・小西各理事

会長報告

- ・12月13日、前会計担当理事金本氏から小西理事の会計処理の状況について確認及び指導を受けた。

副会長報告

- ・第4回八碁連 HP プロジェクト会議を実施（於：11月24日（日）9時～大横保健福祉センター）、課題の確認、具体的な検討案について議論を重ねた。内容は、1月号に掲載した「新たな八碁連 HP のトップページ構成案」についての意見交換を行い、本件発注予定業者の八王子デザイン社の代表も招き、

完成時期、費用、HP の内容等についての意見要望、質問等も含め、その概要を了承した。

各理事報告

- ・ 2月号巻頭言は長房同好会が輪番となっている。(既に原稿受領済み)
その他掲載予定は、総会開催連絡(3月9日(日)、大横保健福祉センター)、会長会議の内容報告、八碁連業務委嘱者謝礼決定の件、新規HP作成の進行状況等である。
- ・ 第30回八碁連タイトル囲碁大会(2月2日(日)9:30~東浅川保健福祉センター)について、名人、王座、天狗の3グループ(各同好会前期・後期で2名選出、9同好会54名の大会予定)で実施する。皆様のご協力をお願いしたい。
- ・ 令和7年度の事業計画案について、私案を当理事会でご検討をお願いしたい。
尚、令和7年度八王子市民文化祭囲碁大会(令和7年11月3日)の例年会場となっている東浅川保健福祉センターが、令和7年10月/中旬~1ヶ月位工事を予定している。従って、場所又は日程を変更する可能性がある。今後の工事日程等について注意する必要がある。
- ・ 本年4月から会計担当に就任してから今日まで、会計帳簿、実績記録などに問題はないか等、正確を期するため、前年度会計担当の石川同好会の金本氏に確認をお願いした。今後の参考にしたい。
- ・ 今後の大会や理事会等の会場設定(予約)は特に問題なく確保している。
第5回八碁連HPプロジェクト会議:1月10日(金)14:00~17:00 大横福祉センター(調理室)
理事会:1月25日(土)、2月22日(土)、3月22日(土) 東浅川保健福祉センター
総会:3月9日(日) 大横保健福祉センター

議案討議事項

1. 第30回八碁連タイトル囲碁大会の役割分担について
別紙(案)のとおり決定した。
2. 会長会議の式次第について
1月21日(土) 東浅川保健福祉センターにて開催予定、別紙の通り

承認した。

3. 令和7年度(来期)の新理事候補を該当同好会に要請する。(順番通り)
中野同好会・大和田同好会・石川同好会の会長に推薦要請する。
4. 来年度の事業計画日程について
令和7年度事業計画案については、競技委員長の原案(私案)を検討した。特に問題ないことを確認した。
5. 新規ホームページ作成について
会長会議(於:12月21日13:00へ東浅川保健福祉センター)に提案する内容【別紙資料(八碁連HPリニューアル検討案)】について検討した。特に異論無し。

次回理事会は 令和7年1月25日(土)

場所 東浅川保健福祉センター

お知らせ

★令和7年度八碁連定例総会のお知らせ

- ・開催日:令和7年3月9日(日)
午前9:30~12:00
 - ・場 所:大横保健福祉センター 第3,4会議室通し
 - ・出席者:各同好会長(代理含む)、日本棋院八碁連支部担当、研修部担当、初心者教室担当、新旧理事等
 - ・議 題:令和6年度事業報告、令和6年度決算報告、令和7年度事業計画案、令和7年度予算案、令和7年度提案事項、令和7年度役員案
- ※総会資料は、追って郵送等でお届けします。



前年度定例総会にて

★令和6年度会長会議の概要

日時：令和6年12月21日（土）

12：30～7：00

場所：東浅川保健福祉センター4階（第4会議室）

出席者：八碁連会長（澤田）、副会長（浅川）、理事
（木村、棚原、小西、荒畑）



会長会議スナップ

各同好会：浅川（三島）、恩方（藤森）、元八王子（森田）、中野（宮崎）、
大和田（鈴木）、石川（石川）、台町（菅井）、南大沢（武中）、
長房（澤田）

会長挨拶（要旨）

1. 会長会議が本日無事開催され御礼と感謝を申し上げます。4月に就任以来、前会長の指導を受けながら、理事の皆さんのご協力もあって、本日まで大過なく任務を果たすことが出来た。
2. 八碁連は現在多くの問題点を抱え、高齢化や会員の減少傾向、行事の参加者減少など多難な状況である。一方では、各同好会で積極的な会員募集や地域とのつながりを模索するなどの活動も真剣に進めている。
3. 本部としても、八碁連PRにつなげるため「新規にホームページ」を立ち上げ、新会員獲得や会員同士の交流を推進する努力をしている。

各同好会からの主な報告・意見等

- ・読売新聞に会員募集の折り込みチラシを入れたが今一反応が鈍い。定例会には、20人前後が参加。最初の15分位は勉強会（大盤解説など）を実施している。
- ・会員の親睦を図るため懇親会を行っている。平均年齢も80歳になり高齢化、現在31名が活動している。定例会は4回/週 実施、級位者への大盤解説など勉強会も行っている。
- ・いつも同じ相手と対局しないよう、マトリックスで相手を変える工夫をしている。
- ・大盤研修会を1回/月実施。会員募集活動の一環として、大和田市民センターまつり時に「囲碁コーナー」を設けPRを行った。

- ・月の第5週の定例会は大会を行う。個人戦、団体戦など工夫している。地区同好会で、2～3段まで認定できるように望む。名誉昇段、昇級も改正を。
- ・石川市民センター祭り時に囲碁コーナーを設けPRしている。20～30名の参加者があるが、同好会への入会状況はあまり芳しくない。
- ・対局表を作って総当たりになるよう対策している。女性会員が数名在籍していたが退会した。



会長会議全景

★第33回活きいき囲碁地区大会（原案）について

令和7年度事業のメインとなる「活きいき地区大会」の日程原案が示されました。（12月21日会長会議）本年も下記4地区同好会と本部共催になります。3月9日（日）の定例総会で正式決定となります。



昨年度石川同好会にて

日程等は以下の通り

第33回活きいき囲碁地区大会開催（案）（後援：日本棋院、八王子市）

開催日	共催	会場
令和7年4月6日（日）	大和田囲碁同好会	大和田市民センター
令和7年5月11日（日）	石川 〃	石川市民センター
令和7年6月8日（日）	南大沢 〃	由木中央市民センター
令和7年7月13日（日）	長房 〃	長房市民センター

注：1)各同好会が会場を事前に特別承認枠で申請する。

2)同好会の事情により日程変更や中止がある。

3)残りの同好会は、来年度実施予定である。（隔年実施）

★入門初心者教室日程（東浅川保健福祉センター 3F）

1月：1月11日（土）、1月18日（土）、1月25日（土）
2月：2月 8日（土）、2月15日（土）、2月22日（土）

★令和6年度八碁連業務委嘱者へ謝礼をする方々を決定

業務、所属、氏名は次の通り

ウェブサイト担当	大和田同好会)	池田 正三殿
初心者教室指導員	(台町同好会)	端山 昌夫殿
日本棋院支部常任幹事	(浅川同好会)	南 正一郎殿
こども囲碁教室講師	(恩方同好会)	小澤 敦司殿
初心者教室責任者	(恩方同好会)	久島 世次殿
囲碁案内人連絡会指導者養成担当 (日本棋院八王子支部普及指導員)		倉内 満 殿

★永年功績があった方への謝礼も併せて決定

氏名：成田 滋殿（令和6年八碁連退会・元大和田同好会）

現在の八碁連ホームページの維持、管理を永年にわたって継続された等、
八碁連に対して多大な貢献をされたことによるものである。

★八碁連 HP の運営検討事項について（今後の方向）

プロジェクトメンバーの池田前八碁連会長（大和田同好会）より、これまでの経過や、課題などの説明が、12月21日の会長会議で行われた。詳細は別紙「八碁連 HP リニューアル検討案」に基づくものであり、その概要は、現在、八碁連 HP が作成者の契約名義、管理権限となっていること。また、HP のシステムや内容も課題があり、今後、HP を継続する場合、新たに HP を開設し、内容も見直すことを提案するものである。ただし、新たな HP 作成には約 30 万円（サーバーレンタル料等の維持管理費は除く）要する。作成に約 3 か月必要とのことで年明けから作業を進めないと 4 月からの運営には間に合わない。

検討方向の主眼は、若年層も活用しやすく、スマートフォンでの利用や新規会員の獲得、八碁連の PR、会員相互の交流が一層図られるようなホームペー

ジを目指す。

会長会議での意見や討議では、出席者のほとんど全員から賛意を示されたが、一部の意見として、費用対効果の観点からどうなのか疑問がある、今日多くの若年層に人気のあるラインや、ユーチューブ、ツイッターなどの SNS の時代に、HP がどの位受け入れられるかを心配する向きもあった。

4月スタートを目標に鋭意検討を急ぎたい。

【編集後記】

今回の八碁連だよりは、発刊400号の節目となりました。創刊号は「碁老連ニュース1号」として、平成2年2月11日(1990年)、八王子の碁を楽しむ老人連合(160名)、浅川同好会の熊崎正一さんが、手書きの初刊を発行しています。35年の月日が経ち、先人のご苦労あつての今日をお慶び申し上げます。



極楽寺参道

翻って、2年間の八碁連だよりはお寺と神社のお参りでした。“面白い”の声が届く半面、若い人が欲しい八碁連にはなじまない記事が多く、申し訳ない、“すみません”の一言です。今回は“極楽寺”。更に若者が遠のきそう？。

今、八王子では「桑都」(そうと)と盛んに呼ばれています。八王子が桑都と呼ばれる由縁は、西行の短歌「浅川を渡れば富士の雪白白く、桑の都に青嵐吹く」にあるそうです。

桑都物語、桑都ペイ、「桑都テラス」は、中心地中町の「花街」にあるショップと伝統文化の融合施設。「桑都日記」は千人同心組頭、塩野適斎が編纂した地誌。第11代徳川家斉のころ、織物の町八王子を余すところなく書き上げたもの、幕府に献上されたと言う。現在は、東京都有形文化財(古文書)に指定され、八王子市資料館に寄託されている。桑都日記の作者塩野適斎はここ、極楽寺に眠っている。



目を引く立派な鐘楼

(S・A)

